

陛下即位儀式



「剣璽等承継の儀」に臨まれる天皇陛下＝1日午前10時32分、宮殿・松の間(代表撮影)

「国民思い寄り添う」 「神器」承継、初のお言葉

天皇陛下は1日午前、皇居・宮殿「松の間」で、即位後初めての儀式となる国事行為の「剣璽等承継の儀」に臨まれた。陛下は、皇位のしるしとされる「三種の神器」のうち剣と璽(勾玉)を、国の印章の「国璽」と天皇の印の「御璽」とともに継承。剣璽について、政府は皇室経済法の「皇位とともに伝わるべき由緒ある物」との見解を示し、宗教性を否定している。

現行憲法や皇室典範には即位に伴う儀式の詳細な規定はなく、政府はいずれの儀式も平成への代替わりの例を踏襲した。

安倍晋三首相ら三権の長や閣僚、皇位継承順1位の皇嗣となった秋篠宮さまらが参列した。

侍従が剣と勾玉、国璽、御璽を持ち、陛下の前の机に安置。陛下が、剣と勾玉、国璽、御璽を再び携えた侍従と共に退出し、儀式は終了。

皇族の参列は、皇位継承資格を有する男性皇族に限定された。未成年皇族は儀式全般に出席しないとの慣例で秋篠宮家の長男悠仁さまは出席せず、退位した上皇さまも加わらなかった。

「松の間」ではその後、国事行為の「即位後朝見の儀」が行われ、陛下は「ここに、皇位を継承するに当たり、常に国民を思い、国民に寄り添いながら、憲法にのっとり、日本国および日本国民統合の象徴としての責務を果たすことを誓い、国民の幸せと国の一層の発展、そして世界の平和を切に希望します」と、天皇として最初のお言葉を述べられた。

即位後朝見の儀には、安倍首相ら三権の長をはじめ、都道府県の知事や議長、市町村長の各代表らが参列。皇嗣秋篠宮ご夫妻ら女性も含めた成年皇族も同席した。



天皇、皇后両陛下（宮内庁提供）



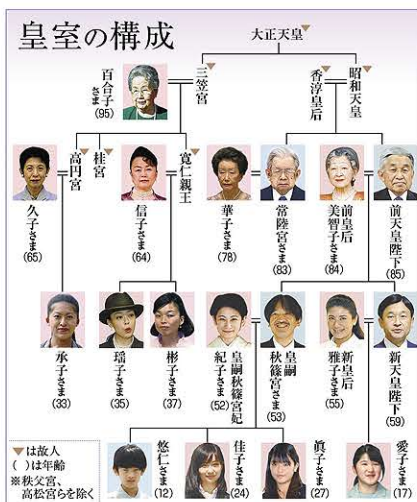
石川県ふれあい昆虫館の温室を見学中、頭に止まるチョウに笑顔を見せられる天皇、皇后両陛下＝1998年8月、石川県鶴来町（現白山市）

天皇陛下の略歴

名前は徳仁^{（1）}。1960年2月23日生まれで、幼少時の称号は浩宮。学習院幼稚園から学習院初、中、高等科を経て、学習院大文学部史学科を卒業後、同大大学院に進学。英オックスフォード大にも留学した。89年1月、昭和天皇の死去に伴い皇太子となり、93年6月に元外交官の雅子さまと結婚した。学習院女子高等科3年の長女愛子さまと3人家族。ライフワークは水問題に関する考察で、2013年と15年、国連本部で開かれた「水と災害に関する特別会合」で講演した。趣味はピアノ演奏と登山。

皇后雅子さまの略歴

1963年12月9日、後の外務事務次官小和田恒氏と妻優美子さんの長女として生まれた。85年に米ハーバード大を卒業。学士入学した東京大を中退後、87年4月に外務省に入り、日米の経済外交に携わった。86年10月、東宮御所で開かれたスペインのエレナ王女歓迎会で、天皇陛下と出会い、93年6月に結婚した。2001年12月に長女愛子さまを出産。03年12月から療養生活に入り、宮内庁は04年7月、病名を「適応障害」と公表した。現在も療養が続いている。



皇室の主な予定

2019年5月1日	皇太子さまが天皇に即位。宮殿で「剣璽(けんじ)等承継の儀」と即位後朔見の儀
4日	皇居で一般参賀
26-28日	トランプ米大統領来日。滞在中、天皇、皇后両陛下との会見や宮中晩さん会を予定
6月	即位後初の主要地方公務「全国植樹祭」で愛知県訪問
6月下旬から7月上旬	皇嗣(こうし)秋篠宮ご夫妻がポランドなど公式訪問
8月16日	全国戦没者追悼式。陛下が「お言葉」
秋	両陛下の地方公務となる全国豊かな海づくり大会(秋田県)、国体(茨城県)、国民文化祭(新潟県)が開催
10月22日	皇居・宮殿で「即位礼正殿の儀」。祝賀パレード「祝賀御列(おんれつ)の儀」、祝賀駕籠(きょうろう)の儀(25、28、31日も開催)
11月14、15日	大嘗祭(だいじょうさい)の中心儀式「大嘗會(だいじょうきゆう)の儀」
16、18日	祝賀「大嘗(だいじょう)の儀」
年末	伊勢神宮、神武天皇陵に大嘗祭終了を報告。京都御所で茶会。即位関連行事の終了を宮中三殿に報告
20年2月23日	即位後初の天皇誕生日
4月19日	秋篠宮さまの「立皇嗣(りっこうし)の礼」